

いま此処にいること

沖縄県立八重山高等学校三年 南 慎之輔

今は平和の風が吹いています
しかし今から七十七年前
想像を絶するような出来事がありました
その記憶に苛まれている人が今もいます

今は平和な時間が過ぎていきます
今から七十七年前
自由な時間はどこにも無かった
今は平和の尊さを感じています
今から七十七年前の出来事
風化させてはいけない
この沖縄で起きたこと
歴史を紐解く

わたしは幼い頃の記憶を辿る
曾祖母から聞いたこと
祖父母から聞いたこと
父母から聞いたこと

わたしが今此処にいること
確かに命が受け継がれてきたから
わたしが現在ここに存在する

もし、あの時曾祖父が命果てていたら
祖母もいなかった

もし、あの時祖母がマラリアで
一家全滅していたら
父はいなかった

今、こうして生きているわたしたち
「平和」とは
その真価とは
問うべき時が
今なのだ

目を反らさずに
直視すべき時が来た
沖縄戦について
平和について
歴史を紐解く

間違いは正せば良い
それがわたしたちに今課せられていること
今年もオキナワだけの暑い夏が
いつものようにやって来た

幼い私が転ばぬよう
曾祖母の温かい手がいつも側にあった
あの坂道に
真っ白な百合が凜と力強く咲いていた
いつの間にかわたしは曾祖母の背丈を越し
今度はわたしが逆に、坂道を歩きやすく
杖を持たない側の後ろから
一步一步ゆっくりと手を携え

この月桃の花咲く時期になると思い出す
甘い香りと
アカシヨウビンの泣き聲

曾祖母とのわずかな時間
命があったからこそ今がある

曾祖母は多くを語らなかったが
「戦争は憎い」
その言葉は今でも脳裏に残る

SDGsの十六番目の目標
平和で公正な社会

世界のみんなで平和になりたい
今、わたしたちができること
争いの無い世界を創ること
きっとできる
絶対成功させないといけない使命

世界のみんなで心を一つに
平和な社会の実現に向かう時
誰かじゃなく
わたしたちで